

裁判官第二カードについて

裁判官第二カード入力フォーム

平成30年8月1日現在

項目	入力	入力要領
氏名 必須		姓と名の間に全角一文字分のスペースを空ける。旧姓使用している場合は旧姓を記入する。
ふりがな 必須		姓と名の間に全角一文字分のスペースを空ける。
司法修習期	60 新	(自動表示)
年齢	38歳	本年8月1日現在の年齢 (自動表示)
現官職	東京地判事・東京簡裁判事	(自動表示)
職務代行・てん補庁		職務代行を命ぜられている場合 (特別判事補の高裁職務代行を除く。) 及びてん補している場合には、職務代行庁・てん補庁を記載する。
現住所 必須		
住宅の種類 必須	—	自宅は、自己又は家族が所有する住居をいい、官舎は、裁判所宿舍及びその他の公務員宿舍をいい、借家は、自宅又は官舎以外のマンション・アパート等をいう。
自宅所在地		「住宅の種類」が自宅以外の者で別に自宅を有するものは、その所在地を記入する。
電話番号		現住所における電話番号をハイフンを入れて入力する。
健康状態	—	良好は、普通の健康体の者をいう。 病弱は、身体虚弱で無理のできない者などという。

裁判官第二カード入力フォーム

平成30年8月1日現在

病状等		家族等の状況		氏名		生年月日	年齢	続柄	続柄その他	職業等	職業等特記事項
				健康状態		同居別居	別居先等			その他特記事項	
				氏名を入力して下さい			歳	—	続柄その他	—	職業等特記事項
				別居先等を入力して下さい			歳	—	続柄その他	—	職業等特記事項
				別居先等を入力して下さい			歳	—	続柄その他	—	職業等特記事項
				別居先等を入力して下さい			歳	—	続柄その他	—	職業等特記事項

治癒中の病名 (通院、入院の別)、既往症、及び病氣以外の身体上の故障のうち、人事上参考になるものを記入する。過去のものは、いつごろのものかや現在の状況も併せて記入する (100字以内)。

氏名: 姓と名の間に全角一文字分のスペースを空ける。配偶者及び子 (世帯から独立した子は除く。) を記入する。これらに加えて、その他の異動に際して考慮が必要となる者を記入しても差し支えない。

生年月日: カレンダーから選択する。

年齢: 本年8月1日現在の年齢 (自動表示)

続柄その他: 例: 祖父、義母

職業等: ○「裁判官」「検察官」で本年8月1日現在裁判所 (検察庁) 以外に所属している者 (例: 裁判官で弁護士職務経歴中の者等) は、従前の職業 (先の例では「裁判官」) を選択し、職業等特記事項欄にその旨を記入する。
○いわゆるパートタイム等の非常勤職員・社員についても、「裁判官以外の裁判所職員」「その他の公務員」「会社員」を選択し、職業等特記事項欄にその旨を記入する。

裁判官第二カード入力フォーム

平成30年8月1日現在

氏名		生年月日	年齢	続柄	続柄その他	職業等	職業等特記事項
氏名を入力して下さい			歳	—	続柄その他	—	職業等特記事項
別居先等を入力して下さい			歳	—	続柄その他	—	職業等特記事項
氏名を入力して下さい			歳	—	続柄その他	—	職業等特記事項
別居先等を入力して下さい			歳	—	続柄その他	—	職業等特記事項
氏名を入力して下さい			歳	—	続柄その他	—	職業等特記事項
別居先等を入力して下さい			歳	—	続柄その他	—	職業等特記事項
氏名を入力して下さい			歳	—	続柄その他	—	職業等特記事項
別居先等を入力して下さい			歳	—	続柄その他	—	職業等特記事項

職業等特記事項: ○「裁判官以外の裁判所職員」を選択した者については、所属庁及び官職の種類を記入する。
例: 東京地裁裁判所書記官
○「その他の公務員」を選択した者については、その所属官庁等を記入する。
例: 総務省〇〇局、東京都庁
○「会社員」を選択した者については、その勤務地を記入する。
例: 東京都千代田区勤務、大阪市勤務
○「学生」を選択した者については、就学年を記入する。
例: 中学3年、大学院1年
○「未就学」を選択した者が保育園・幼稚園等に通園している場合は、その旨を記入する。
例: 幼稚園年長
健康状態: 良好は、普通の健康体の者をいう。
病弱は、身体虚弱で無理のできない者などという。
別居先 (市区町村まで) 及びその理由を記入する。

裁判官第二カード入力フォーム			前年度呼出	一時保存	提出	第二カード印刷	甲野花子	パスワード変更	ログアウト
任地について 必須	<input type="text"/>		来年度の任地の希望を選択する。 将来の任地の希望については、「任地についての特別の希望」欄に記入する。						
他に転任する場合の任地希望について 必須	<input type="text"/>		次期異動についての任地希望を選択する。						
希望地	第一希望	第一希望地を入力して下さい	任地の記載については、概括的なものでも差支えないが、その場合でも地域的概念を用いて記入する。 地域的概概念を用いた概括的な例：東京及びその近郊、北海道、大阪高裁管内						
	第二希望	第二希望地を入力して下さい							
	第三希望	第三希望地を入力して下さい							
転任希望の時期			現任地での勤務を希望する者も記載する。						
任地についての特別の希望			次期異動における任地希望の理由、次期異動又は将来における任地についての特別の希望等を記入する（300字以内。300字を超える特段の事情があるときは、この欄にできる限り記入した上で、「詳細は別途提出」などと記入して、所長（所長代行）・長官に別途提出する。）。						
担当事務についての特別の希望			次期異動又は将来における担当事務についての特別の希望等を記入する（200字以内）。						

裁判官第二カード入力フォーム			前年度呼出	一時保存	提出	第二カード印刷	甲野花子	パスワード変更	ログアウト
担当事務についての特別の希望			次期異動又は将来における担当事務についての特別の希望等を記入する（200字以内）。						
短期海外出張の希望について （判事が選択すること） 必須 ※前年度呼出されない項目	<input type="text"/>		判事が選択することとし、短期海外出張（外国の特定の制度調査の目的等で出張するものをいう。）の希望の有無を選択する。						
外部経験等の希望について （判事が選択すること） ※前年度呼出されない項目	(1)訴訟後事	<input type="text"/>	判事補（簡易裁判所判事と兼任する者を含む。）が選択することとし、「判事補の外部経験の概要等について」（任用課長事務連絡）を参照の上、(1)から(9)までの項目についての希望の有無及びその程度を選択する。						
	(2)法務省	<input type="text"/>							
	(3)弁護士	<input type="text"/>							
	(4)行政官庁	<input type="text"/>							
	(5)在外公館	<input type="text"/>							
	(6)法整備支援	<input type="text"/>							
	(7)民間企業研修	<input type="text"/>							
	(8)海外留学	<input type="text"/>							
	(9)その他	<input type="text"/>							
外部経験等についての特別の希望 及びその理由 （判事補が記入すること） ※前年度呼出されない項目			外部経験等についての特別の希望（希望する外部経験先の希望順位や程度を含む。）があれば、その内容を記入する（200字以内）。 例：「(2)法務省」においては希望する部局名、「(3)弁護士」においては弁護士職務経験希望する地域、「(4)行政官庁」においては希望する省庁名、「(7)民間企業研修」においては研修を希望する地域、「(9)その他」においては希望する外部経験先等						